

シンポジウム

3月22日(水) A会場 (A13) 13:15~17:30

「環境調和型農薬を目指して - 世界の動向と環境負荷低減に向けて - 」

オーガナイザー：吉川博道、田村廣人

1. 環境省における化学物質対策 ~いわゆる環境ホルモン対策の転換~
上家和子 (環境省環境安全課) (座長：田村廣人)
2. 哺乳動物に対する生殖毒性試験法
青山博昭 (残留農薬研究所毒性部) (座長：田村廣人)
3. メダカの性的可塑性と環境中での内分泌かく乱現象の評価
濱口 哲 (新潟大学理学部) (座長：宮本康夫)
4. 両生類による内分泌かく乱活性試験法の開発
山藤憲明 (東和科学環境生命科学研究所) (座長：宮本康夫)
5. グリーンケミストリー温故知新
塩入孝之 (名城大学大学院総合学術研究科) (座長：吉川博道)
6. ピレスロイド系家庭用殺虫剤の製法研究
山近 洋 (住友化学) (座長：吉川博道)

3月23日(木) C会場 (A11) 13:15~16:40

「農薬バイオサイエンスのフロンティア」 (農薬バイオサイエンス研究会との共催)

オーガナイザー：塩月孝博

1. バイオフィトン検出装置の開発
土屋広司 (浜松ホトニクス) (座長：有江 力)
2. バイオフィトンによる生理活性の評価 : 抵抗性誘導農薬スクリーニングへの利用
牧野孝宏 (静岡農試) (座長：有江 力)
3. イネいもち病菌の付着器分化に関わる遺伝子研究 : Genomics で全てが解るのか?
鎌倉高志 (東京理科大) (座長：本山高幸)
4. リアノジン受容体をターゲットとする新たな殺虫剤 : フルベンジアミドの生理活性
正木隆夫 (日本農薬) (座長：加藤康仁)
5. フーリエ変換質量分析によるメタボロミクス : 低分子化合物による代謝かく乱の網羅的解析とマーカー分子の同定
太田大策 (大阪府大) (座長：須恵雅之)